

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告

都道府県名	10.群馬県
市区町村名	藤岡市
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の数値	目標の数値	実績の数値	本事業の達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
10209藤岡市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	地域学校協働活動のボランティア募集の周知を行ってきたが、協力していただける人や依頼をかける人がある程度決まってしまうっており、全体が十分活用されていないことが課題である。	・地域学校協働活動の更なる周知に向け、広報部による広報回覧のみでなく、掲示板への掲示やメール配信等の工夫、ボランティアのつとめへの参加依頼などを行い、さらに周知を徹底していく。 ・学校運営協議会において、学校課題についての熟識とともに、教職員との交流の場を設け、必要なボランティアを検討する。その後、委員と推進員が連携し、まんべんなくボランティアへ依頼できるような環境を整えていく。	・回覧の内容を読みやすいものになるよう分量を適切に削減した。 ・学校運営協議会において、管理職が退席した後に若手教員と委員の交流をもち、本音で語り合う場を設けた。	地域学校協働活動の有効活用の方法が明確になり、地域との協働が進み、教員の業務負担の軽減、さらには持続可能な活動となり、管理職や教職員が変わっても学校の特色が継続するなど、教育活動の充実を図る。	広報等、地域学校協働活動のボランティアの募集及び活動内容を掲示板への掲示やメール配信等、様々な方法で周知すること、で、学校評面において、地域人材の活用について学校は積極的に取り組んでいる項目の数値がある。	70	%	80	75.2	地域学校協働活動の募集をより広く周知するため、回覧の内容が読みやすいものになるよう情報過多を防ぎ、分量を適切に削減する工夫を行った。 学校運営協議会において、管理職が退席した後に若手教員と地域委員のみで交流をもち、現場が真に求める支援の形について本音で語り合う場を設けた。 協働の意義を共有するためCSマイスターを招いた講演会や、未参加層の参加を促すため地域づくりセンターを会場とした講演会を定期的に実施した。